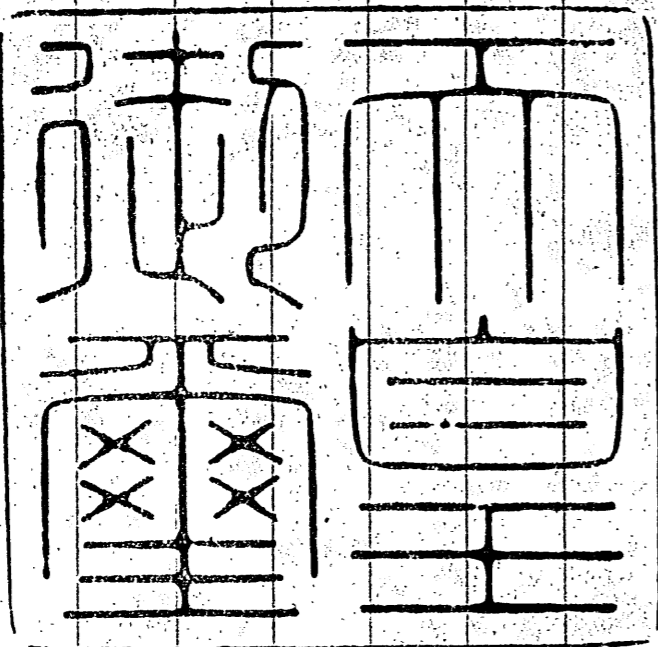


厚、東亞、運

勅令第二十二號

朕船員動員令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ  
公布セシム

裕仁



昭和二十年一月十九日

月

皇、史、臣、軍

内閣總理大臣 小磯 國 昭

海軍大臣 米内 光 政

大東亞大臣 重 光 葵

陸軍大臣 杉 山 元

運輸通信大臣 前 田 米 藏

内務大臣 大 達 次 雄

厚生大臣 廣 畑 久 忠

勅令第二十二號

船員動員令

第一章 總則

第一條 國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號）ニ於テ依ル  
場合ヲ含ム以下同ジ）第四條ノ規定ニ基ク帝國臣民ノ船員トシ  
テノ徵用、同法第六條ノ規定ニ基ク船員ノ使用、雇入、解雇若  
ハ退職又ハ應徵船員（本令ニ依リ徵用セラレタル者ヲ謂フ以下  
同ジ）ノ使用若ハ從業條件ニ關スル命令、同法第十三條第一項  
ノ規定ニ基ク船員ノ衛生又ハ教育訓練ニ關スル施設ノ管理及使  
用、同條第二項ノ規定ニ基ク從業者ノ供用、同法第二十一條ノ  
規定ニ基ク船員ノ職業能力ニ關スル事項ノ申告及其ノ職業能力

ニ關スル検査並ニ同法第二十二條ノ規定ニ基ク船舶ノ運航ニ從  
事スベキ技能者ノ養成ハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二章 船員ノ徵用

第二條 徵用ハ國家ノ要請ニ基キ第三十五條ニ掲グル者ヲシテ總  
動員業務タル船舶ノ運航ニ從事セシムル爲必要アル場合ニ之ヲ  
行フモノトス

第三條 應徵船員ハ命令ヲ以テ定ムル船舶ニ配置セラルルモノト  
ス

第四條 徵用及徵用ノ解除ハ運輸通信大臣之ヲ行フ

第五條 運輸通信大臣徵用ノ必要アリト認ムルトキハ徵用令書ヲ  
發シ徵用セラルベキ者ニ之ヲ交付スベシ

船舶所有者徵用ニ依ル船員ノ配置ヲ必要トスルトキハ運輸通信  
大臣ニ之ヲ請求又ハ申請スルコトヲ得

運輸通信大臣官衙ノ使用スル船舶ニ乗組中ノ者ニ付當該官衙ノ  
所管大臣ノ請求ヲキ場合ニ於テ徵用令書ヲ發セズトスルトキハ  
當該官衙ノ所管大臣ニ協議スベシ

第六條 徵用令書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ但シ軍機保護  
上特ニ必要アルトキハ第二號又ハ第三號ニ掲グル事項ヲ省略ス  
ルコトヲ得

一 徵用セラルベキ者ノ氏名、出生ノ年月日、本籍及居住ノ場  
所ハ現ニ乗組中ノ者ニ付テハ居住ノ場所ニ代へ乗組船舶ノ船  
名

二 配置セラルル船舶ノ屬スル船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

三 従事スベキ職務

四 徴用ノ期間

五 出頭スベキ日時及場所

六 其ノ他必要ナル事項

第七條 運輸通信大臣ハ徴用ノ適否其ノ他ヲ判定スル爲必要アルトキハ徴用セラルベキ者ニ出頭ヲ求ムルコトヲ得

第八條 徴用令書ノ交付ヲ受ケタル者疾病其ノ他避クベカラザル事故ニ因リ指定ノ日時及場所ニ出頭スルコト能ハザル場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ運輸通信大臣ニ其ノ旨ヲ届出ツベシ

前項ノ規定ニ依ル届出アリタル場合ニ於テ運輸通信大臣必要アリト認ムルトキハ出頭ノ日時若ハ場所ヲ變更シ又ハ其ノ者徴用ニ適セズト認ムルトキハ徴用ヲ取消スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ出頭變更令書又ハ徴用取消令書ヲ發シ其ノ者ニ之ヲ交付スベシ

第九條 運輸通信大臣應徴船員ノ配置セラルル船舶ノ屬スル船舶所有者又ハ應徴船員ノ従事スル職務若ハ徴用ノ期間ニ付變更ノ必要アリト認ムルトキハ徴用變更令書ヲ發シ應徴船員ニ之ヲ交付スベシ

應徴船員ノ配置セラルル船舶ノ屬スル船舶所有者應徴船員ノ従事スル職務又ハ徴用ノ期間ニ付變更ヲ必要トスルトキハ運輸通

信大臣ニ之ヲ請求又ハ申請スルコトヲ得

運輸通信大臣官衙ニ使用セラルル者ニ付當該官衙ノ所管大臣ノ  
請求ナキ場合ニ於テ徵用變更令書ヲ發セントスルトキハ當該官  
衙ノ所管大臣ニ協議スベシ

第十條 運輸通信大臣徵用解除ノ必要アリト認ムルトキハ徵用解  
除令書ヲ發シ應徵船員ニ之ヲ交付スベシ

應徵船員ノ配置セラルル船舶ノ屬スル船舶所有者應徵船員ガ疾  
病其ノ他ノ事由ニ因リ職務ニ從事スルニ適セズト認ムルトキ又  
ハ其ノ者ノ配置ヲ必要トセザルニ至リタルトキハ遲滞ナク運輸  
通信大臣ニ徵用ノ解除ヲ請求又ハ申請スベシ

應徵船員疾病其ノ他ノ事由ニ因リ職務ニ從事シ難キ場合ニ於テ

ハ官衙ニ使用セラルル者ニ在リテハ當該官衙ノ所管大臣ニ、其  
ノ他ノ者ニ在リテハ運輸通信大臣ニ其ノ旨ヲ申出ヅルコトヲ得  
運輸通信大臣官衙ニ使用セラルル者ニ付當該官衙ノ所管大臣ノ  
請求ナキ場合ニ於テ徵用解除令書ヲ發セントスルトキハ當該官  
衙ノ所管大臣ニ協議スベシ

第十一條 應徵船員ノ表彰ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ  
定ム

第十二條 應徵船員ノ服務及服制ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以  
テ之ヲ定ム

第十三條 應徵船員ハ前條ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ依ルノ外  
其ノ職務ニ關シ官衙ニ使用セラルル者ニ在リテハ當該官衙ノ長

ノ指揮ヲ受ケ其ノ他ノ者ニ在リテハ命令ノ定ムル所ニ依リテ爲ス船舶所有者ノ指揮ヲ受ケベシ

第十四條 應徵船員ニ對スル給與ハ命令ノ定ムル所ニ依リ應徵船員ノ配置セラルル船舶ノ屬スル船舶所有者之ヲ支給スルモノトス

第十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ應徵船員ノ配置セラルル船舶ノ屬スル船舶所有者其ノ旅費ヲ支給スルモノトス

- 一 徵用セラルルベキ者第七條ノ規定ニ依リ出頭スル場合
- 二 應徵船員徵用令書ノ交付ヲ受ケ出頭スル場合
- 三 應徵船員徵用ヲ解除セラレ歸郷スル場合

四 應徵船員其ノ家族ノ危篤又ハ死亡ノ爲船舶所有者又ハ船長ノ許可ヲ受ケ一時歸郷スル場合

五 應徵船員ノ危篤又ハ死亡ノ爲船舶所有者又ハ船長ノ通知ニ依リ應徵船員ノ家族又ハ遺族出頭スル場合

前項第一號又ハ第二號ノ場合ニ於テ前金拂ヲ爲スニ非ザレバ出頭スルコト能ハザル者ノ旅費ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ居住地ノ市町村ハ東京都ノ區ノ存スル區域ニ在リテハ東京都又ハ之ニ準ズベキモノニ於テ一時繰替支辨スベシ

第一項ノ家族又ハ遺族ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十六條 運輸通信大臣必要アリト認ムルトキハ應徵船員官衙ニ使用セラルル場合ヲ除クノ外國家總動員法第六條ノ規定ニ基キ

應徵船員ヲ使用スル船舶所有者ニ對シ應徵船員ノ使用又ハ從業條件ニ關シ命令ヲ爲スコトヲ得

第十七條 應徵船員故意又ハ重大ナル過失ニ因ルニ非ズシテ業務上傷撲ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ之ガ爲徵用ヲ解除セラレタル場合ニ於テ本人又ハ家族ガ生活スルコト困難ナルトキハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ニ對シ扶助ヲ爲スコトヲ得

應徵船員故意又ハ重大ナル過失ニ因ルニ非ズシテ業務上傷撲ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ之ガ爲死亡シタル場合ニ於テ遺族ガ生活スルコト困難ナルトキハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ニ對シ扶助ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ家族又ハ遺族ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條 應徵船員船舶ニ乗組ミ職務ニ從事シ戰爭危險又ハ之ニ非ズベキ危險ニ遭遇シ因リテ傷撲ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本人又ハ其ノ遺族ニ對シ一時金ヲ支給ス

前項ノ遺族ノ範圍及順位ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十九條 第十七條ノ規定ニ依ル扶助及前條ノ規定ニ依ル一時金ノ支給ニ要シタル費用ハ應徵船員ヲ使用シタル船舶所有者ヲシテ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ國庫ニ納入セシムルモノトス但シ船舶所有者ガ國ナル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ之ヲ徵用セズ

一 陸海軍軍人ニシテ現役中ノモノハ未ダ入營セザル者ヲ除ク

及召集中ノモノハ召集中ノ身分取扱ヲ受ケル者ヲ含ム

二 陸海軍學生生徒（海軍豫備練習生及海軍豫備補習生ヲ含ム）

三 醫療關係者職業能力申告令ニ依リ申告ヲ爲スベキ者（總動

員業務ヲ行フ船舶所有者ノ使用スル船舶ニ乗組中ノ者ヲ除ク

四 獸醫師等職業能力申告令ニ依リ申告ヲ爲スベキ者

五 法令ニ依リ拘禁中ノ者

第二十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ特別ノ必要アル場合ヲ

除クノ外之ヲ徵用セズ

一 餘人ヲ以テ代フベカラザル職ニ在ル官吏、待遇官吏又ハ公

吏

二 帝國議會、東京都議會、道府縣會、市町村會其ノ他之ニ準

ズベキモノノ職員

三 總動員業務ニ従事スル者ニシテ餘人ヲ以テ代フベカラザル

モノ

第二十二條 左ニ掲グル者ノ徵用ニ付テハ徵用令書、徵用變更令

書及徵用解除令書竝ニ其ノ交付ニ關シ命令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲

スコトヲ得

一 總動員業務ヲ行フ船舶所有者ノ使用スル船舶ニ乗組中ノ船

員

二 總動員業務ヲ行フ船舶所有者ノ保有スル豫備員タル船員

第三章 船員ノ使用、雇入、解雇及退職

第二十三條 運輸通信大臣必要アリト認ムルトキハ船舶所有者ニ



對シ命令ヲ以テ定ムル船舶ノ乗組員數又ハ豫備員タル船員ノ保  
有ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十四條 運輸通信大臣必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル  
所ニ依リ船舶所有者ニ對シ其ノ雇傭スル船員ヲ期間ヲ限リテ他  
ノ船舶所有者ヲシテ使用セシムベキコトヲ命ズルコトヲ得

前項ノ命令ニ依リ船員ヲ使用セシムル場合ニ於テハ當事者タル  
船舶所有者ハ之ニ伴フ費用ノ負擔其ノ他必要ナル事項ニ關シ協  
議スベシ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ運輸通  
信大臣ノ裁定スル所ニ依ルベシ

第一項ノ船員ニ對スル給與ハ當該船員ヲ使用スル船舶所有者從  
前ノ給與ヲ斟酌シテ之ヲ支給スルモノトス

第二十五條 何人ト雖モ船舶所有者ニ雇傭セララルル船員ニシテ運

輸通信大臣ノ指定スルモノニ對シ船員以外ノ者トシテ雇傭セラ  
ルルコトヲ勸誘シ又ハ他人ヲシテ勸誘セシムルコトヲ得ズ

第二十六條 海運局長必要アリト認ムルトキハ前條ノ規定ニ違反  
シ船員ヲ雇傭シタル者ニ對シ當該船員ノ解雇ヲ命ズルコトヲ得

第二十七條 運輸通信大臣必要アリト認ムルトキハ船員ノ雇入、  
解雇又ハ退職ノ制限ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

雇傭期間ノ滿了其ノ他解雇及退職以外ノ事由ニ因リ船員ノ雇傭  
關係ノ終了スル場合ニ於テハ引續キ雇傭關係ヲ存續セシムルコ  
トヲ要ス但シ命令ノ定ムル所ニ依リ運輸通信大臣ノ認可ヲ受ケ  
タル場合ハ此ノ限ニ在ラズ  
前二項ノ規定ハ海員ノ雇入契約ニハ之ヲ適用セズ

第二十八條 運輸通信大臣ノ指定スル船員養成施設ニ於テ本令施行後其ノ課程ヲ修了スル者ヲ雇傭契約ニ基キ使用セントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ使用員數ニ付運輸通信大臣ノ認可ヲ受クベシ

第二十九條 本章ノ規定ハ國及都道府縣ニハ之ヲ適用セズ

第四章 施設ノ管理及使用

第三十條 運輸通信大臣必要アリト認ムルトキハ船舶所有者又ハ海事ニ關スル法人ニ屬スル船員ノ衛生又ハ教育訓練ニ關スル施設ヲ管理スルコトヲ得

第三十一條 運輸通信大臣ハ前條ノ規定ニ依リ管理スル施設ニ於ケル船員ノ衛生又ハ教育訓練ニ關スル業務ニ付經營者ヲ指揮監督ス

督ス

第三十二條 工場事業場管理令第三條、第四條第一號乃至第三號及第五號、第五條ハ第二條ノ規定ヲ準用スル部分ヲ除クハ竝ニ第八條乃至第十二條ノ規定ハ第三十條ノ規定ニ依ル施設ノ管理ニ之ヲ準用ス但シ同令中主務大臣トアルハ運輸通信大臣トシ同令第四條第三號中第十四條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ職權ノ一部ヲ行フ者トアルハ船員動員令第五十三條ノ規定ニ依リ同令第三十條ノ管理ニ關スル運輸通信大臣ノ職權ノ一部ヲ行フ海運局長トス

第三十三條 運輸通信大臣必要アリト認ムルトキハ船舶所有者又ハ海事ニ關スル法人ニ屬スル船員ノ衛生又ハ教育訓練ニ關スル

施設ヲ使用スルコトヲ得

運輸通信大臣前項ノ規定ニ依リ同項ノ施設ヲ使用スル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ其ノ従業者ヲ供用セシムルコトヲ得

第三十四條 工場事業場使用收用令第三條乃至第十二條、第十八條第一項、第十九條、第二十一條乃至第二十五條及第三十條第二項ノ規定ハ前條ノ規定ニ依ル施設ノ使用及従業者ノ供用ニ之ヲ準用ス但シ同令中主務大臣トアルハ運輸通信大臣トシ同令第五條第六號中第三十條第一項ノ規定ニ依リ所轄官衙ノ長又ハ地方長官ヲシテ第六條又ハ第十條第一項ノ規定ニ依ル主務大臣ノ職權ヲ行ハシムル場合トアルハ船員動員令第五十三條ノ規定ニ依リ海運局長ヲシテ同令第三十條ニ於テ準用スル工場事業場使用收用令第

六條又第六十條第一項ノ規定ニ依ル運輸通信大臣ノ職權ヲ行ハシムル場合トシ同令第二十四條第二項中閣令トアルハ命令トス

第五章 職業能力ノ申告及検査

第三十五條 左ニ掲グル者（以下要申告者ト稱ス）ハ本章ノ規定

ニ依リ職業能力ニ關スル事項ノ申告ヲ爲スベシ

一 船員法第一條（朝鮮船員令及關東州船員令ニ於テ依ル場合ヲ含ム）ニ規定スル船員

二 小形船舶乗組員手帳法第一條第一項ニ規定スル船員

三 海技免狀ヲ有スル者

四 運輸通信大臣ノ指定スル船員養成施設ニ於テ其ノ課程ヲ終了シタル者ニシテ年齢六十年未滿ノモノ

五 第一號又ハ第二號ノ船員（小形船舶乗組員手帳法施行前ニ  
同法第一條第一項ニ規定スル船員ニ該當セシ者ヲ含ム）トシ  
テ六月以上船舶ニ乗組ミタル者ニシテ年齢六十年未満ノモノ  
六 總動員業務ヲ行フ船舶所有者ノ保有スル豫備員タル船員  
七 總噸數三十噸未満ノ漁船ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノノ乗  
組員及六月以上該船舶ニ乗組ミタル者ニシテ年齢六十年未満  
ノモノ  
八 其ノ他運輸通信大臣ノ指定スル者

第三十六條 職業能力ニ關スル事項ノ申告ハ毎年一回之ヲ爲サシ  
ムルモノトス  
前項ノ申告ハ七月一日現在ニ依リ同月十五日迄ニ之ヲ爲スベシ

第三十七條 要申告者ハ左ニ掲グル事項ヲ居住地ヲ管轄スル管海

官廳ニ申告スベシ

- 一 氏名
- 二 男女ノ別
- 三 出生ノ年月日
- 四 本籍
- 五 居住ノ場所
- 六 兵役關係
- 七 學歷
- 八 船員手帳又ハ小形船舶乗組員手帳ヲ有スルトキハ其ノ管海  
官廳略號及番號

- 九 海技免狀ヲ有スルトキハ其ノ種類及番號
  - 十 無線通信士資格檢定合格證書ヲ有スルトキハ其ノ等級及番號
  - 十一 乘船履歷
  - 十二 現ニ從事スル業務
  - 十三 俸給、給料等ヲ受クル者トルトキハ其ノ額
  - 十四 健康狀況殊ニ船内勤務ニ關スル支障ノ有無
  - 十五 配偶者ノ有無及現ニ扶養スル者ノ數
  - 十六 船内勤務ニ關スル希望
  - 十七 其ノ他命令ヲ以テ定ムル事項
- 要申告者前項ノ規定ニ依ル申告ヲ爲シタル後同項第一號、第四

號乃至第六號及第十二號ニ掲グル事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ第三十九條ニ掲グル場合ヲ除クノ外三十日以内ニ居住地ヲ管轄スル管海官廳ニ其ノ旨ヲ申告スベシ

第三十八條 第三十五條第一號及第二號ノ船員ハ本章ノ規定ニ依ル申告ヲ爲スコトヲ要セズ但シ第二項ニ規定スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

運輸通信大臣必要アリト認ムルトキハ第三十六條ノ規定ニ依ル申告ノ外要申告者ノ全部又ハ一部ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ前條第一項ニ掲グル事項ノ全部又ハ一部ヲ申告セシムルコトヲ得

第三十九條 要申告者第三十六條乃至前條ノ規定ニ依ル申告ヲ爲

シタル後左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ遲滯トク前ニ申告ヲ爲シタル管海官廳ニ其ノ旨ヲ申告スベシ

一 第四十一條ノ規定ニ該當スルニ至リタルトキ

二 本令施行地外ニ居住ノ場所ヲ移シタルトキ

第四十條 管海官廳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該官吏ヲシテ本章ノ規定ニ依ル申告ヲ爲シタル者ニ就キ其ノ職業能力ニ關シ検査ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十一條 本章ノ規定ハ第三十九條第一號ノ規定ニ依ル申告ニ關スル規定ヲ除クノ外陸海軍軍人ニシテ現役中ノモノ（未ダ入營セザル者及歸休下士官兵ヲ除ク）及戰時若ハ事變ニ際シ又ハ兵役法第五十五條第二項ノ規定（志願ニ依リ兵籍ニ編入セラレ

タル者）付テハ之ニ該當スル勅令ノ規定ヲ含ム）ニ依リ召集中ノモノ、兵籍ニ編入セラレタル陸海軍學生生徒（海軍豫備練習生及海軍豫備補習生ヲ含ム）、國家總動員法第四條ノ規定ニ依リ徵用中ノ者（國民徵用令ニ依リ徵用中ノ者ヲ除ク）、醫療關係者職業能力申告令ニ依リ申告ヲ爲スベキ者（總動員業務ヲ行フ船舶所有者ノ使用スル船舶ニ乗組中ノ者ヲ除ク）並ニ獸醫師等職業能力申告令ニ依リ申告ヲ爲スベキ者ニハ之ヲ適用セズ

第四十二條 要申告者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノノ申告ニ關シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ申告期限ヲ延長スルコトヲ得

一 陸海軍軍人ニシテ召集中ノモノ（前條ニ規定スル召集中ノ者ヲ除ク）

二 外國旅行中ノ者

三 其ノ他命令ヲ以テ定ムル者

第六章 船舶運航技能者ノ養成

第四十三條 運輸通信大臣ハ船舶運航技能者養成施設ノ管理者又ハ船舶所有者ニ對シ技能ノ種類及養成セラルベキ者ノ員數ヲ定メ技能者ノ養成ヲ命ズルコトヲ得

運輸通信大臣ハ前項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者ニ對シ養成ノ爲必要ナル施設ヲ命ズルコトヲ得

第四十四條 前條ノ規定ニ依リ養成セラルベキ者ハ命令ノ定ムル資格ヲ具フル者ナルコトヲ要ス

養成期間及養成方法ハ技能ノ種類及養成セラルベキ者ノ履歷ニ

應ジ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十五條 第四十三條第一項ノ規定ニ依リ技能者ノ養成ヲ命ゼラルタル者ハ養成計畫ヲ定メ海運局長ノ認可ヲ受クベシ其ノ計畫ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

海運局長必要アリト認ムルトキハ養成計畫ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第四十六條 第四十三條第一項ノ規定ニ依リ技能者ノ養成ヲ命ゼラルタル船舶所有者ハ養成セラルベキ者ヲシテ授業料其ノ他養成ノ爲必要ナル費用ヲ負擔セシムルコトヲ得ズ但シ命令ノ定ムル所ニ依リ海運局長ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四十七條 海運局長ハ船舶運航技能者養成施設ノ管理者ニ對シ

左ニ掲グル事項ニ關シ必要ナル變更ヲ命ズルコトヲ得

一 講習ノ科目及時間

二 養成スベキ技能ノ種類及養成セラルベキ者ノ員數

三 養成セラルベキ者ノ資格

四 養成期間

五 其ノ他養成ニ關シ必要ナル事項

第四十八條 運輸通信大臣ハ其ノ定ムル所ニ依リ本章ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者ニ對シ豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付スル運輸通信大臣ハ本章ノ規定ニ依ル技能者養成ニ因リ損失ヲ生ジタル場合ニ於テハ通常生ズベキ損失ヲ補償ス

損失ノ補償ヲ請求セントスル者ハ養成期間ノ終了後之ヲ請求ス

ベシ但シ運輸通信大臣ノ定ムル所ニ依リ別段ノ時期ニ之ヲ請求スルコトヲ得

第四十九條 本章ノ規定ハ農商大臣ヨリ漁船運航技能者養成ノ爲補助金其ノ他ノ交付金ヲ受クル公共團體其ノ他ノ營利ヲ目的トセザル法人ニ對シ專ラ漁船ニ乗組ムベキ船舶運航技能者ノ養成ヲ命ズルコトニ關シテハ之ヲ適用セズ

第五十條 運輸通信大臣ガ漁業者タル漁船所有者ニ對シ第四十三條ノ規定ニ依ル命令ヲ爲サントスル場合及前條ノ公共團體其ノ他ノ法人ニ對シ同條ニ掲グル以外ノ船舶運航技能者ノ養成又ハ養成施設ニ關シ第四十三條ノ規定ニ依ル命令ヲ爲サントスル場合ニ於テハ豫メ農商大臣ニ協議スベシ



前項ノ規定ハ朝鮮、臺灣及南洋群島ニ於テハ之ヲ適用セズ

### 第七章 雜則

第五十一條 運輸通信大臣ハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ船員ノ徵用、使用、雇入、解雇若ハ退職、應徵船員ノ使用若ハ從業條件、船員ノ衛生若ハ教育訓練ニ關スル施設ノ管理若ハ使用、從業者ノ供用、職業能力ニ關スル事項ノ申告若ハ船舶運航技能者ノ養成ニ關シ必要トル報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ船舶、事務所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第五十二條 本令及本令ニ基キテ發スル命令中船舶所有者ニ關スル規定ハ船舶共有ノ場合ニ在リテ船舶管理人ヲ置キタルトキハ船舶管理人ニ、船舶貸借ノ場合ニ在リテハ船舶借入人ニ之ヲ適用ス

第五十三條 運輸通信大臣ハ海運局長ヲシテ本令ニ定ムル職權ノ一部ヲ行ハシムルコトヲ得

第五十四條 本令中運輸通信大臣トアリ又ハ當該官衙ノ所管大臣トアルハ當該官衙ノ所管大臣ガ陸軍大臣又ハ海軍大臣タル場合ヲ除クノ外朝鮮、臺灣又ハ南洋群島ニ在リテハ各朝鮮總督、臺灣總督又ハ南洋廳長官トシ海運局長トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテハ各朝鮮總督府交通局長又ハ臺灣總督府交通局長トシ海

運局長トアリ又ハ管海官廳トアルハ南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官ノ指定スル行政官廳トシ都道府縣トアルハ朝鮮、臺灣又ハ南洋群島ニ在リテハ各道、州若ハ廳又ハ南洋群島地方費トス

第五十五條 本令ニ規定スルモノノ外船員ノ徵用、使用、雇入、解雇若ハ退職又ハ應徵船員ノ使用若ハ從業條件ニ關スル命令、船員ノ衛生又ハ教育訓練ニ關スル施設ノ管理及使用、從業者ノ供用、職業能力ニ關スル事項ノ申告並ニ船舶運航技能者ノ養成ニ關シ必要トル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

本令ハ昭和二十年一月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

船員職業能力申告令、船舶運航技能者養成令、船員徵用令及船員

使用等統制令ハ之ヲ廢止ス

戰時海運管理令中左ノ通改正ス

第一條中「ニ乗組マシムベキ船員ノ徵用、同法第六條ノ規定ニ基ク被徵用船員ノ解雇、從業、退職又ハ給與ニ關スル命令、同法第八條ノ規定ニ基ク船舶運營會ノ運航スル船舶」及「及船員ノ衛生及教育訓練ニ關スル施設ノ管理」ヲ削リ「第四條」ヲ「第八條」ニ改ム

「第三章 船員徵用」ヲ削ル

第十八條乃至第二十九條 削除

「第四章 船舶運營會」ヲ「第三章 船舶運營會」ニ改ム

第四十六條 削除

第四十八條 削除

「第五章 雜則」ヲ「第四章 雜則」ニ改ム

第六十一條第一項中「第二十七條ノ規定ニ依ル處分ニ因リ通常生ズベキ損失及」ヲ削ル

第六十二條第一項中「、運輸通信大臣ノ管理ニ係ル船員ノ衛生及教育訓練ニ關スル施設ノ經營者」ヲ削ル

第六十五條第一項中「第四章」ヲ「第三章」ニ改ム

第六十七條ヲ削ル

第六十八條中「、船員徵用」ヲ削リ同條ヲ第六十七條トス

國民徵用令中左ノ通改正ス

第十五條ノ二 被徵用者船員動員令ニ依リ徵用セラレタルトキハ

本令ニ依ル徵用ハ解除セラレタルモノト看做ス

本令施行前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ仍従前ノ例ニ依ル

本令施行前船員職業能力申告令、船舶運航技能者養成令、船員徵用令若ハ船員使用等統制令又ハ戰時海運管理令中ノ船員ノ徵用若ハ船員ノ衛生及教育訓練ニ關スル施設ノ管理ニ關スル規定ニ基キテ發シ又ハ爲シタル命令又ハ處分ハ之ヲ本令中ノ相當規定ニ基キテ發シ又ハ爲シタル命令又ハ處分ト看做ス

理 由 書

決戦下船員ノ充足整備ノ緊要性ニ鑑ミ船員徴用ノ範圍ヲ擴大スルト  
共ニ服務ノ振肅、處遇ノ改善其ノ他戦時船員管理ノ強化ヲ圖ル爲船  
員徴用令、戦時海運管理令中關係條文、船員職業能力申告令、船員  
使用等統制令及船舶運航技能者養成令ニ修正ヲ加ヘタル上之ヲ整理  
統合シ新ニ船員動員令ヲ制定スルノ要アルニ依ル